

営農だより 野菜版 2号

JAふじ伊豆御殿場営農経済センター
2023年(令和5年)4月20日発行

農業大学校

～本年度から、農業大学校の1、2年生の講習内容を営農だよりでお伝えします～

<1年生の活動>

～大玉トマト、中玉トマトの播種～

品種：大玉トマト→りんか409、中玉トマト→シンディーオレンジ

農業大学校1年生現地講習会の第一回目として、大玉トマト、中玉トマトの播種を行いました。

- 128穴セルトレイに種まき培土をつめる(培土に水分が無いときは、水をかけて水分の調整を行う)
- 一穴一粒種を落とし、培土を種の厚さの3倍程覆土する(覆土は指で鎮圧する程度)
- 水を張った桶に播種したセルトレイを入れ、水がいきわたるように底面給水を行う
- 芽が出たときに日光で芽がやられてしまわないよう、新聞紙を一枚かぶせる



<2年生の活動>

～とうもろこしの播種～

品種：ホワイトショコラ

農業大学校2年生現地講習会の第一回目は、トウモロコシの播種を行いました。播種したホワイトショコラという品種は、その名の通り真っ白な実をつけます。

- 128穴セルトレイに種まき培土をつめる(培土に水分が無いときは、水をかけて水分の調整を行う)
- 培土の表面より5mmほど指で種子を押し入れる。その時、種子のとがった部分を下にする(とがった部分から根が出るため、発芽揃いがよくなる)
- 覆土をし、余分な覆土はとる
- 水を張った桶に播種したセルトレイを入れ、水がいきわたるように底面給水を行う
- 新聞紙をかぶせ、温度を維持する



今後、今回播種したトマトやとうもろこしの様子や、これから栽培する作物の紹介を営農だよりで行っていきます。少しでも組合員の皆様のお役に立てれば幸いです。

キュウリの栽培

～ファーマーズ御殿場では、8月中旬頃からキュウリの出荷が少なくなります。栽培計画により2回まきし長期出荷を目指しましょう！～

1. 栽培計画

条件	4月			5月			6月			7月			8月			9月			10月			備考		
	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下			
露地		○				◎						○			◎									

2. 特性

温暖な気候を好み、低・高温のどちらにも強くありません。家庭菜園では、晩霜が降りなくなってから露地に定植するのが無難です。

- ①発芽適温：25～30℃ ②生育適温：25～28℃(夜温：13℃)

3. 播種と育苗

- 128穴セルトレイに1粒ずつ種をまく。※播種時に葉の向きが同じ方向に出るように、種の尖っている方向を揃えて種をまくと良い。
- 保温マットを使用し27℃前後にセットすると2～3日で発芽する。
※保温マットがない方は、ハウス内でじっくり発芽させる。
- 夜間は13℃前後を保てるようにする。
- 鉢上げは本葉が少し見えた頃9cmポットに移植。
- 本葉が3～4枚時の若苗を定植する。(老化苗はやめる⇒収量が低下)

4. ほ場選定

- 排水が良い場所⇒多くの水と酸素を欲しが。畝を高くすると良い。
- 風通しが良い場所⇒風通しが悪いと多くの病気になる。
- 日当たりが良い場所⇒日光が大好き。

施肥表

(1a当り)

	資材名	施肥量	価格(税込)		備考
堆肥	牛ふん堆肥	200kg	15kg	530円	1ヶ月前
土壌改良材	苦土石灰(粒)	10kg	20kg	538円	2週間前
元肥	ジシアン有機s806	12kg	20kg	4,120円	1週間前

5. マルチ栽培

- 地温の確保と雑草抑えのために黒マルチを張る。

栽植密度：株間50～60cm、広い通路、キュウリアーチ支立て

写真の様なアーチ栽培をしましょう！！



6. 定植時の注意

- 定植の前に苗、土壌に十分吸水させる。(植え傷みに対して弱い)
- 晴天の暖かい日の午前中に植え付ける。
- 定植後1週間は多目の灌水を行い、活着後は控える。

定植後、保温キャップなどで、苗を囲うと初期生育がスムーズにいきます。

ジャガイモの管理

～1茎当たり約4～5個のイモがつく
⇒1株2～3茎、イモ数10～15個が目標～

1. 芽かきの効果

1株当たりの茎数2～3本で、売れ筋のL・M（70～190g）サイズの粒が揃い、多収になる。（※茎数が少ない場合には、イモ数が少なく大小差が大きいイモになってしまう。茎数が5本以上となると小粒が多い。）

2. 作業方法

※芽かきは、出芽後1週間までに、種イモが持ち上がらないように手で押さえ、弱小の茎を1本ずつ根元から間引いて2～3本にする。

ストロンは約13本。種イモに接する部分のストロンが、収量にとって重要となる。
※ストロン=匍匐茎（ほふくけい）

3. 土寄せの効果

- ・イモ数の早期確保・肥大促進⇒17～22℃の地温、暗黒状態、適度な水分などイモの肥大開始を促す。
- ・倒伏防止 ・イモの緑化防止
- ・根圏の拡大⇒根量が多くなり、増収する。

【中耕培土のポイント】

1回目の培土：出芽後10日目頃に中耕を兼ねて、半培土（軽く土寄せ）をする。
芽を痛めないように注意する。

2回目の培土：出芽後20日頃に本培土を行う。
1回目の培土から10日目、茎長が約30cmとなりイモが肥大を始める頃に、畝と畝の間の土を元の地表面から約15cmの深さに掘り、その土を反転して株際に寄せる。⇒ 水はけ、通気性が大変良くなる。

令和5年度農業振興支援事業のご案内

～野菜・果樹の生産量
向上にお役立て下さい～

1. 事業目的

J Aふじ伊豆御殿場地区本部管内組合員の農業経営における経営改善に対し補助を行い、生産コストの低減、栽培管理の効率化と栽培環境の整備、農業経営の継続を支援し、地域農業の活性化を図る。

2. 補助内容

No.	事業名	補助率	補助金限度額	予算額
1	ハウス建設支援事業	50%	20万円	160万円
2	鳥獣被害対策支援事業	50%	5万円	20万円
3	キウイフルーツ棚建設支援事業	50%	20万円	20万円
4	自然災害に伴うハウス緊急支援事業	50%	20万円	—

※補助対象事業費は、設備資材の費用とし、工事費・搬入費・設置費等の施工費及び消費税は、対象外とする。

3. 対象者

- 【第1条件】 J Aふじ伊豆御殿場地区本部管内の組合員（正組合員、准組合員）。
【第2条件】 ファーマーズ御殿場・J Aふじ伊豆御殿場地区本部が出荷を管理する農産物直売所会員、野菜・果樹類の生産部会等の会員。
【第3条件】 継続的にJ Aふじ伊豆御殿場地区本部に農産物を出荷する者。
※第1～3までの条件をすべて満たしている生産者が対象となります。但し、自然災害に伴うハウス緊急支援事業については【第1条件】を満たせばよいものとする。

4. 事業内容 ※1、2、3の事業につきましては、建替えは対象となりません。

事業名	事業内容
1. ハウス建設支援事業 	ハウス利用による農産物等のJ Aふじ伊豆御殿場地区本部への出荷を目的とする施設及び出荷農産物等生産にかかる事業者の経営改善に資する施設で、J Aふじ伊豆御殿場地区本部が認めたハウスの新規導入または増設する場合の経費の一部助成。 【事業要件】 ①新規によるハウス導入または増設。 ②1人当たり上限2棟まで可。（ただし、複数年で2棟とする） ③ハウス規模は10坪以上とし、耐雪ハウスとする。
2. 鳥獣被害対策支援事業 	電気柵等の一定の経営上の効果が見込まれる鳥獣被害対策経費の一部助成。 【事業要件】 1人当たり上限2圃場まで可。 （ただし、複数年で2圃場とする）
3. キウイフルーツ棚建設支援事業 	キウイフルーツ棚の新規に導入または増築する場合の経費の一部助成。 【事業要件】 ①新規による導入または増築。 ②1人当たり上限2圃場まで可。（ただし、複数年で2圃場とする）
4. 自然災害に伴うハウス緊急支援事業 	この事業は、地域に甚大な自然災害により被害を受けたと判断される場合に農産物の生産・加工に必要なハウスの再建、修繕に係る費用について一部を助成するものであり、営農を再開する農業者への支援とする。本事業の実施については農協御殿場地区本部長が決定する。 【事業要件】 ①対象は、農産物の生産・加工に必要なハウス（ビニルハウスを含む）の再建、修繕にかかる費用とする。 ②ハウスの強度の向上や規模拡大等を行うことも可能だが、 <u>原形復旧を超える部分の費用については、助成対象外とする。</u> ③被災地での再建が困難な場合、 <u>場所を移動して再建することも可能とする。</u> ④公的補助金及び農業共済金の対象となる場合、その補助金額を控除した費用を助成対象とする。 ⑤ハウスの設置場所、設置方向、補強、防風ネットの設置など <u>再発防止対策に努めること。</u>